



スタジオ iris に導入された SSL System S500

## TOKYO FM Iris スタジオ：これからのミキシング・コンソール タッチパネル・オペレーション SSL System T S500 を導入した

この度、TOKYO FM（東京・千代田区）メイン・スタジオとなっているスタジオ iris（イリス）の録音システム更新に伴い、コントロール・ルーム（35 平米）のミキシング・コンソールが導入された。

同コンソールの持つ特徴になっている Dante HC、AoIP ベースのルーティング、

I/O による分散配置やリソースシェアリングなど、いままでにないシステム構築を可能とし、EQ など全面的にツマミ操作から、大型ディスプレイのタッチパネル・オペレ

ションになっている。

今回、このタッチパネル・オペレーションとベテラン・ミキサー、スタッフの融合を 10 月からの運用で熟されている現場を



タッチパネルは直感的な操作ができる



社内公募で決まった studio Iris の由来

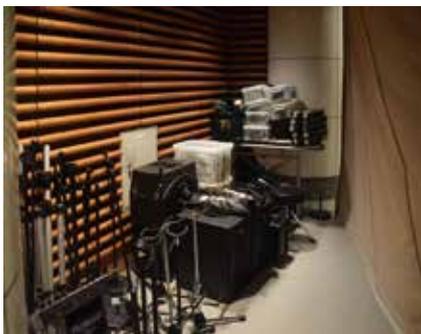


ミキシング・コンソール System T S500

# User's Report



観客 30 人規模のライブができるスタジオ Iris



3 面水平カーテン裏は機材倉庫になっている



スタジオ側から見たスタジオサブ



スタジオの脇に収納されたピアノ、スタインウェイ

訪問取材させていただいた。

エフエム東京本社ビルは、1985 年に本社機能、6 室ある録音スタジオ / 2 室ある生放送スタジオ、コンサート・ホールなどが完成している。スタジオの広さなどは基本的に現在と変わらないが、ミキシング・コンソールやスピーカーシステムなど関連機材は更新時期もあって、今回のように大幅変更されるスタジオもある。

エフエム東京は、前身のエフエム東海から 1970 年にスタートし、オーディオファンを中心にリスナーには欠かせない音楽音源となってきた。

現在、スタジオでの収録など放送は 15kHz なので運用は 48kHz/16bit となっ

ている。

また、この辺のスタジオ内での運用規格を変更するとリスナーからの問い合わせがあるなど、放送規格内でも、機材の持つ特徴がリスナーの耳に到達するように、今回の機材が持つ 64bit フローティングポイント・プロセッシング、スーパー・アナログなどの技術を駆使した運用が行われている。

スタジオは、観客 30 人規模のライブ番組「Good Luck LIVE」を毎週土曜日に放送している。コントロール・ルームのスタッフにも力が入るライブ番組となっている。

今回の更新でコンソール以外は、部屋の造りには変更ないが、今までアナブースから録画ブースとされた防音処理の別室をマ



スタジオ天井には LED ライトが配されている



2式のステージボックスは、ビル内2階のコンサートホール収録時には1式は2階に降り、繋がれる



アナブースだったが、改修後はラック室に収納されたマシン



お話を伺った株式会社エフエム東京 総務局 技術部長 兼 i-dio 事業本部 開発部長 川島修氏 (左) と 総務局 技術部 秋山拓也氏

シングルルームとし、各機材の持つ冷却ファンの騒音を抑える構造になっている。

モニタースピーカも変更され、メインはラージだけでなく、ミディアムタイプもパラで運用できるようにしており、必要に応じ音場感も再現出来る構成としている。サラウンドスピーカは固定で設置されている。

Iris 録音スタジオ (111 平米) はある程度のオーケストラの収録も可能とし、ビル内2階には大編成オーケストラ公演にも使える300人収容ホールも有り、収録など多目的で使われている。

## 【STUDIO IRIS 機材リスト】

### 音声設備

- ・ **コンソール** : SSL System T S500  
フルデジタルコンソール / 5.1ch 対応 / 96kHz 対応
- ・ **レコーダ** : AVID Pro Tools (64ch) / タスカム DA6400 (64ch) ほか  
TFM Original DAW
- ・ **CD-R** : タスカム SS-CDR200
- ・ **CD プレーヤ** : CD タスカム 9010 + RC900 × 2 / Qbellsync DAW
- ・ **ネットワーク・プレーヤ** : Oppo BDP-103DJP
- ・ **ブルーレイ・プレーヤ** : タスカム CD-240
- ・ **モニタースピーカ** : ADAM S5H × 2、GENELEC : 1032A/1031A/7070A  
Fujitsu Eclipse 508Pas、Tannoy LG ほか
- ・ **エフェクタ** : t.c.electronics System6000/Finalizer96K、NEVE33609、Valley People 610、TUBE-TECH CL-1B × 4、Urei 1176 × 6、DBX : 160SL × 1、Lexicon 480L  
ヤマハ : REV5/SPX990、SDE-3000 × 2/SDD-320、DRAWMER MX50、Telephone Hybrid × 2
- ・ **マイクロホン** : NEUMANN : U87 × 2、KM105 × 2、KSM100MS × 1set、AK20 × 1、AK40 × 1、TLM147 × 1  
AKG : C414 × 8 (XLS × 4 EB × 4、C4000B × 2、C5900 × 2、C451B × 2 (Stereo Set)、C480B × 4、C1000 × 2、D112 × 2  
オーディオテクニカ : AT-4050/CM5 × 2、ATM25 × 2、B&K : 4007 × 2  
Dpa : 4011 × 2、3521kit (4021 × 2)、4099 × 2  
Electro Voice N/D468 × 5、N/D868 × 2、RE-20 × 2  
Shoeps : C55U × 6  
SENNHEISER : MD421 × 6、E904 × 3、E901 × 1、MKH435 × 2  
SHURE : SM-58 Beta × 20、SM-57 Beta × 5、SM-87A × 5、KSM9 × 3  
サンケン : WMS5 × 1
- ・ **キューボックス** : Roland M48 × 8
- ・ **プロジェクタ** : 三菱 LVP-D1208
- ・ **スクリーン** : VUTEC LECTRIC1 80 インチ 16 : 9
- ・ **PA 設備スピーカ** : RCF : EVOX8 × 2、BOSE : 802 × 2、ヤマハ : MSR100 × 4
- ・ **GEQ** : YAMAHA : 2031B × 3
- ・ **スタジオ照明** : 東芝ライテック 蛍光ライト (4 灯式、6 灯式)
- ・ **その他** : 3 面カーテンホリゾン
- ・ **URL** : <http://www.tfm.co.jp/>  
i-dio (V-Low マルチメディア放送) <http://www.idio.jp/>